

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和4年6月27日

大阪府知事 殿

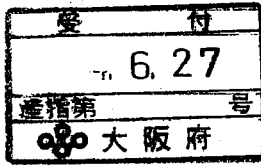
提出者

住 所 大阪府摂津市西一津屋1番1号

氏 名 ダイキン工業株式会社 淀川製作所
執行役員所長 村井 哲

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号06-6349-0259



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	淀川製作所
事業場の所在地	大阪府摂津市西一津屋1番1号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	16.化学工業 25.汎用機械器具製造業 27.業務用機械器具製造業
②事業の規模	57,651百万円
③従業員数	2,549人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

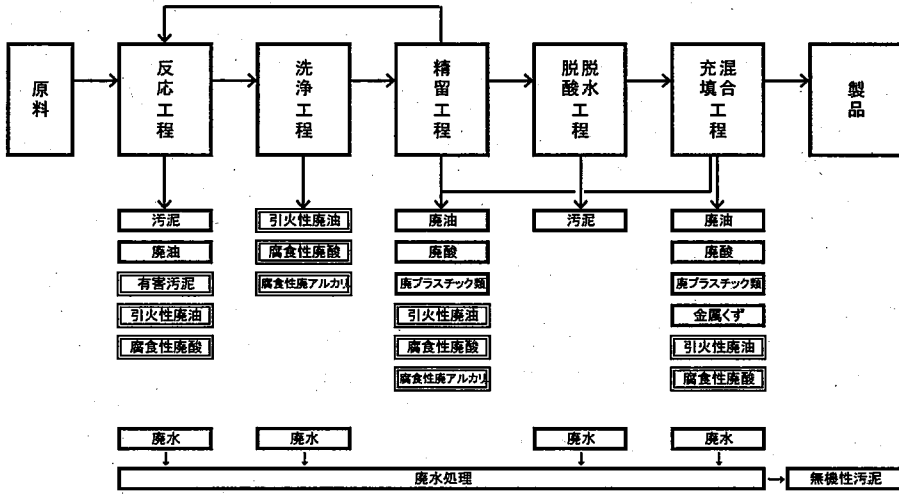
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項		自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項																																																			
【前年度(令和3年度)実績】		【前年度(令和3年度)実績】		【前年度(令和3年度)実績】		【前年度(令和3年度)実績】		【前年度(令和3年度)実績】																																																	
特別管理産業廃棄物の種類	①汚泥(有害)	②引火性廃油	③廃油(有害)	④強酸	⑤強アルカリ	⑥腐アルカリ(有害)	⑦感熱性廃棄物	⑧	⑨																																																
①現状	1 t	118 t	0 t	714 t	2,804 t	11 t	1 t	-	-																																																
②計画	1 t	106 t	0 t	714 t	2,804 t	11 t	1 t	-	-																																																
③現状	0 t	65 t	0 t	487 t	0 t	0 t	1 t	-	-																																																
④現状	0 t	5 t	0 t	0 t	1,842 t	0 t	0 t	-	-																																																
⑤現状	0 t	48 t	0 t	115 t	523 t	11 t	0 t	-	-																																																
<p>特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</p> <p>【前年度(令和3年度)実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別管理産業廃棄物の種類</th> <th>①汚泥(有害)</th> <th>②引火性廃油</th> <th>③廃油(有害)</th> <th>④強酸</th> <th>⑤強アルカリ</th> <th>⑥腐アルカリ(有害)</th> <th>⑦感熱性廃棄物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全処理委託量</td> <td>1 t</td> <td>118 t</td> <td>0 t</td> <td>714 t</td> <td>2,804 t</td> <td>11 t</td> <td>1 t</td> </tr> <tr> <td>優良認定処理業者への処理委託量</td> <td>1 t</td> <td>106 t</td> <td>0 t</td> <td>714 t</td> <td>2,804 t</td> <td>11 t</td> <td>1 t</td> </tr> <tr> <td>取生利用業者への処理委託量</td> <td>0 t</td> <td>65 t</td> <td>0 t</td> <td>487 t</td> <td>0 t</td> <td>0 t</td> <td>1 t</td> </tr> <tr> <td>認定回収業者への処理委託量</td> <td>0 t</td> <td>5 t</td> <td>0 t</td> <td>0 t</td> <td>1,842 t</td> <td>0 t</td> <td>0 t</td> </tr> <tr> <td>認定回収業者以外の処理委託量</td> <td>0 t</td> <td>48 t</td> <td>0 t</td> <td>115 t</td> <td>523 t</td> <td>11 t</td> <td>0 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>（これまでに実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理委託開始前にMDS及び現物サンプルによる廃棄物性状確認の実施 ・発生工程変更時のMDS取直し ・処理委託前の現地確認及び定期的な現地確認の実施、電子マネーフエーストシステムを用いた処理進捗の監視 ・コロナウイルス感染拡大への対応として、リモート現地視察の検討を行った。 										特別管理産業廃棄物の種類	①汚泥(有害)	②引火性廃油	③廃油(有害)	④強酸	⑤強アルカリ	⑥腐アルカリ(有害)	⑦感熱性廃棄物	全処理委託量	1 t	118 t	0 t	714 t	2,804 t	11 t	1 t	優良認定処理業者への処理委託量	1 t	106 t	0 t	714 t	2,804 t	11 t	1 t	取生利用業者への処理委託量	0 t	65 t	0 t	487 t	0 t	0 t	1 t	認定回収業者への処理委託量	0 t	5 t	0 t	0 t	1,842 t	0 t	0 t	認定回収業者以外の処理委託量	0 t	48 t	0 t	115 t	523 t	11 t	0 t
特別管理産業廃棄物の種類	①汚泥(有害)	②引火性廃油	③廃油(有害)	④強酸	⑤強アルカリ	⑥腐アルカリ(有害)	⑦感熱性廃棄物																																																		
全処理委託量	1 t	118 t	0 t	714 t	2,804 t	11 t	1 t																																																		
優良認定処理業者への処理委託量	1 t	106 t	0 t	714 t	2,804 t	11 t	1 t																																																		
取生利用業者への処理委託量	0 t	65 t	0 t	487 t	0 t	0 t	1 t																																																		
認定回収業者への処理委託量	0 t	5 t	0 t	0 t	1,842 t	0 t	0 t																																																		
認定回収業者以外の処理委託量	0 t	48 t	0 t	115 t	523 t	11 t	0 t																																																		

【目標】 特別管理産業廃棄物の種類	【目標】					【目標】				
	①汚泥(有害)	②引火性廃油	③廃油(有害)	④強酸	⑤換アルカリ	⑥換アルカリ(有害)	⑦感染性廃棄物	⑧	⑨	⑩
全処理委託量	1 t	115 t	0 t	680 t	2,810 t	10 t	0 t	-	-	-
優良認定処理業者への処理委託量	1 t	100 t	0 t	660 t	2,760 t	10 t	0 t	-	-	-
再生利用業者への処理委託量	0 t	65 t	0 t	480 t	0 t	0 t	0 t	-	-	-
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	5 t	0 t	0 t	1,850 t	0 t	0 t	-	-	-
②計画 認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	45 t	0 t	60 t	520 t	10 t	0 t	-	-	-
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染拡大のため、実施出来ていなかった約2年間分の現地視察を計画的に実行し、また自社拠点やグループ会社と現地視察情報を共有し効果的に現地視察を進める 										

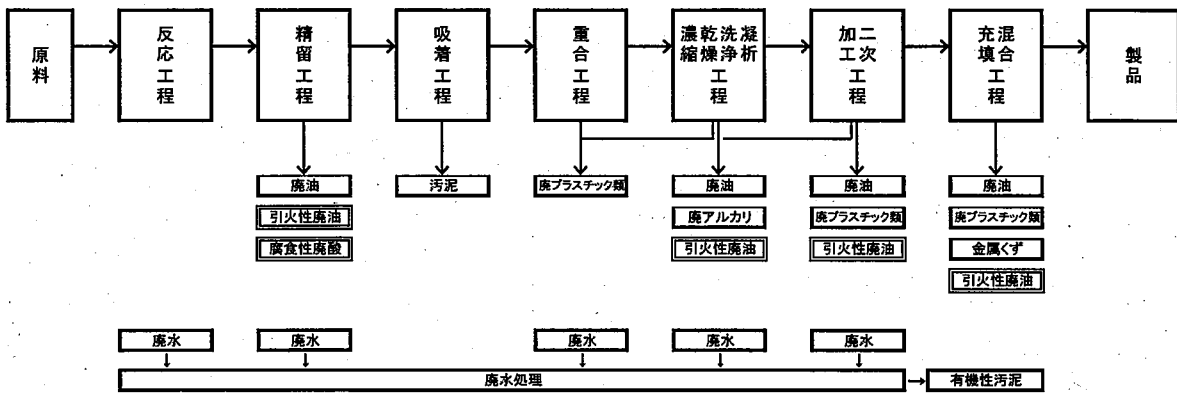
【前年度(令和5年度)実績】	
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	3,649 t
電子情報処理組織の使用に関する事項 (今後実施する予定の取組等) 2009年度に電子マネージメント導入し、全ての特別管理産業廃棄物について電子マネージメントを使用中 従来の取組みの継続	
※事務処理欄	

別紙1. 産業廃棄物発生工程フロー

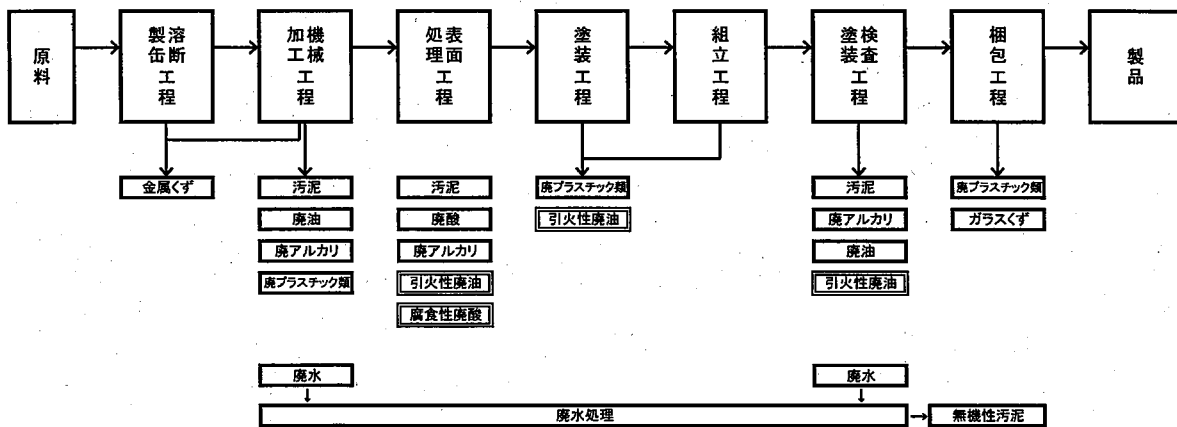
化学品製造工程フロー図



フッ素樹脂製造工程フロー図

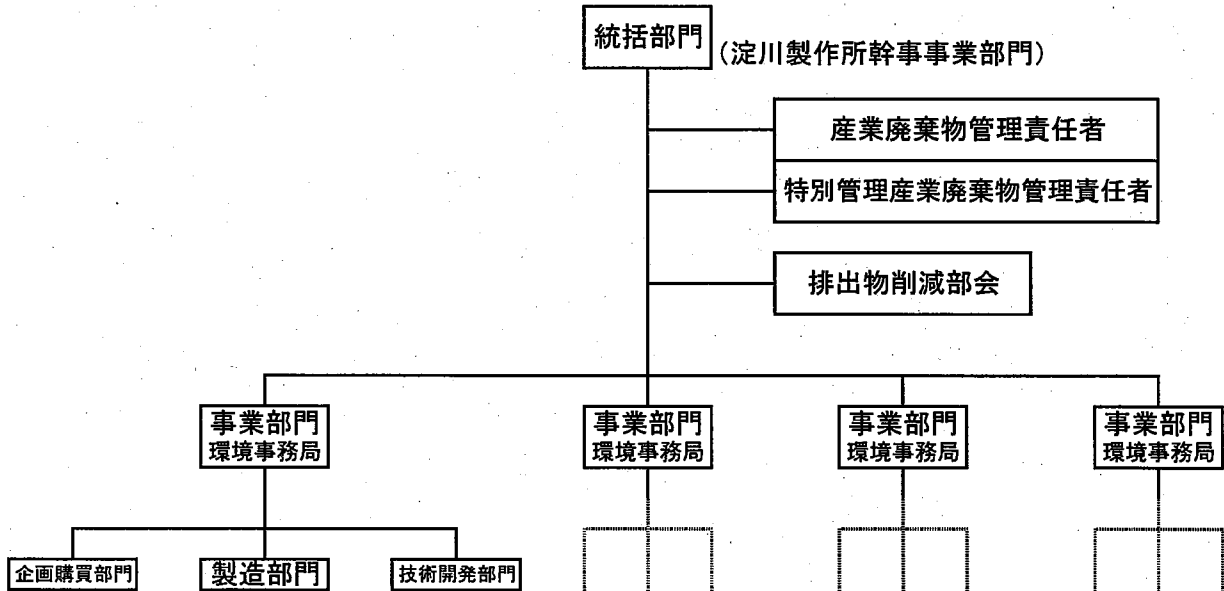


機械製造工程フロー図



別紙2. 管理体制図及び各部署の役割

〔管理体制図〕



〔各部署の役割〕

部署	役割
統括部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の発生工程ごとの発生量・性状の把握 産業廃棄物ごとの処理委託業者の選定及び契約管理 電子マニフェストの運用管理 処理委託台帳の管理 処理委託先の処理状況視察(定期及び不定期) 行政に対する報告等 産業廃棄物の適正管理及び減量化に関する社内啓発 事業場共通発生廃棄物の集積管理及び処理委託先への引渡し 中間処理施設の維持管理に関する情報開示 各部門間の調整及び指示
排出物削減部会	<ul style="list-style-type: none"> 事業場共通発生品の分別・再資源化に関する企画立案 事業場共通発生品の分別回収に関する社内啓発
事業部門環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 自部門で発生する産業廃棄物の発生工程ごとの発生量・性状の把握 自部門で発生する産業廃棄物の適正管理に関する部門内啓発 自部門で発生する産業廃棄物の減量化計画の策定及びその実行
製造部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 産業廃棄物発生工程の設備及び運転状況の管理 産業廃棄物保管場所の維持管理及び保管状況の管理 中間処理施設の稼働状況の把握、記録の作成等 産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等 上記について自部門の環境事務局に報告
技術開発部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物発生量削減等の製造プロセス検討 副産品の有効利用に関する技術検討
企画購買部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理費用及び技術検討費用の予算管理 産業廃棄物処理委託料金支払いによる業者管理